



# みんなで大運動会

合計132人参加



# 潮寿荘だより

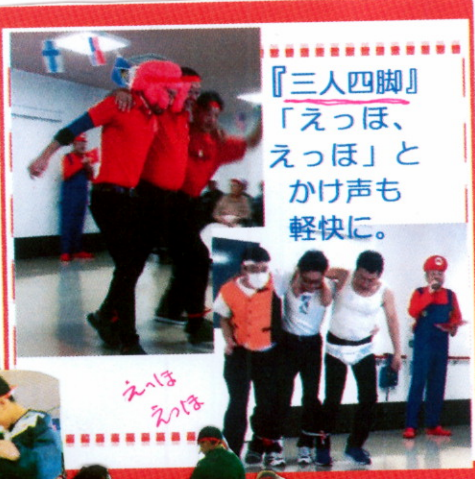


10月30日「はこだてつちよホール」で「運動会」が開催されました。潮寿荘と潮太郎、はこだてつちよ全事業所入居者さんとスタッフ合同で行う大イベントです。この日のために日々のレクリエーションで練習を積み重ねてきた入居者の皆さん。紅白二組に分かれ、紅組団長には勝負事には負けたくない阡子さん。白組団長には会話上手、頭による選手宣誓がなされいよいよ運動会開始です。司会進行はスーパーマリオに変装した石黒介護士51歳。変装しなくても似ています。最初の競技は全員参加の『ボール渡しゲーム』。2回とも白組勝利。次は『玉入れ』。皆さん必死に玉を入れていきます。なぜか何個入ったかではなく、先に玉を全部入れた方が勝ちというシステムになっていて皆さん(職員も)戸

平成29年11月15日発行  
 発行：特別養護老人ホーム  
 潮 寿 荘  
 記事：11月担当潮寿荘職員  
 編集：潮寿荘だより編集委員  
 題字：原 静子(83歳)



日新小学校5・6年生によるヨサコイ



『三人四脚』  
「えっほ、えっほ」と  
かけ声も  
軽快に。



選手宣誓!



『三人四脚』最後に転んで  
しまった小学生チーム



ボウリング

ガード予防壁

小学生



ボール渡しゲーム



レーススタート!  
人間ばん馬

ぜひ、ホームページ動画で  
このスピード感を見て  
感じてください



玉入れ

カーブ、しっかり  
しがみついている

惑っていました。次は『ボウリング』。両側段ボールで壁を作っているのですが、義丸さんが投げると勢い良くどこかに飛んでいき一本も倒れませんでした。したが、爆笑を取ることができませんでした。ゆるく投げたストライクを取る人、溜めて溜めてなかなか投げない方、いろんなスタイルに笑った手を叩いたり大盛り上がりでした。競技の間には、ヘルちよの職員と潮太郎の職員による応援ダンス。日新小学校5・6年生による元気のよいヨサコイも披露されました。白組リードで迎えた最終競技は『人間ばん馬リレー』各チーム三人一組で一人は騎手で毛布に乗り、二人は馬で毛布を引っ張り、紅白反対向きにコースを走る競技です。中村PTは相手チームと同じ向きに乗ったため最初から転げ落ちました。他の選手も勢いよく走るので、ほぼ全員が力一歩か次のチームにバトンする時に転がっています。重たい乗り手を身体を傾け必死に引っ張る馬役。その姿に涙を流して笑う入居者さん。人間ばん馬は最終競技に相応しいスピード感で大盛り上がり。タンバリンや鈴を振って「がんばれっ」と応援する人、みんなの声援(絶叫)と笑い声いっぱいの大運動会になりました。翌日「楽しくて、応援しすぎて、タンバリンの所が痣

ウラ面下の壁に痣

ヘルちよ...「カーブ」...「しっかり」



コンセプトは「運動会のお弁当」  
まず食べられるごちそうです。



10月24日「職場体験学習」  
潮光中学校の2年生、3名と  
ボール遊びゲームや玉入れの練習  
食事介助などE宅職員について体験  
「楽しかった」「またおいでー」の記念撮影

入居者紹介 芝井行子さん 81歳  
行子さんは今年9月に入所し、潮寿荘の生活にも慣れてきたのか沢山お話を聞かせてくれます。ナスコールで「ありがとうね」と満面の笑顔を見せてくれます。そんな行子さんは私をイケメンだと言ってくれ「早く



お嫁さんもらいなさいよ」と元気づけてくれる事もあります。そして私が息子さんと似ているそうで「息子と話しているみたいだ」とおっしゃり最後には「みのる」という私と息子さんの名前が同じ事もあり、時折感情移入してしまいます。  
ご飯の時には数種類あるオシャレな帽子を被ります。どの帽子か決めるとき「それじゃなくこっち」と言われたり、ファッションセンスのない私はそのセンスを密かに見習おうと思っております。ベット上で過ごすことが多い行子さん。いつも満面の笑顔がありがとうございます。  
(潮寿荘の近くに家を購入してから転職。準備万全介護士・池浦)



10月4日、夕食で月見うどんを食べた後、入居者様の長寿を願う手作りの月見団子をお供えして月を

愛でる行事を行いました。皆で歌を歌った後は満月の夜に相應しく五七五の俳句を詠みました。少し紹介したいと思います。  
『十五夜の 月見て潤う 酔い心地』  
行子さんがお部屋から眺める美しい月を情緒豊かに詠んでくれました。  
『満月に 感謝感激 雨あられ』  
眞佐子さんのユーモアたっぷりな、

聞く人に笑いの福をもたらしたスケールの大きな詩でした。  
『お月さん 僕の未来も 照らしてよ』  
泉孝樹介護士が切実な願いを詠みました。この後、高校時代の僕（〜）はろくな事を考えていなかった」という詩吟も披露してくれました。  
『満月に 楽しく餅つくく うさぎあり』  
橋本事務長の容姿から想像もつかないような可愛い句でした。  
『漁り火と 水面で競う 中秋の月』  
潮寿荘から眺める夜の海を詠った施設長の神秘的な句でした。  
『満月を 見るたび思う 我がお腹』  
佐々木武介護士の体重が増えて満月と同じようなお腹になってしまったという句に入居者の皆さんの笑いが溢れました。  
月の神様が降臨し、それぞれにステ

12月のよてい

- 5日 誕生会
- 11日 鍋会食(キムチ鍋)
- 13日 特別喫茶(半塩煮)
- 23日 クリスマス会
- 25日 鍋会食(薬味白湯鍋)
- 27日 餅つき

キな俳句を披露してもらった後は、お団子やサツマイモ、トウモロコシを食べ、収穫の感謝と健康と幸福を願った十五夜となりました。  
(心も思考も、どこかずれてる異世界看護師・池野)

オモテ運動会の続き  
「オモテ運動会」の笑顔で話す入居者さん。ほかに沢山の入居者さんから「楽しかった」「来年のために元気でいなくちゃ」と言ってもらいました。これから身体を動かし大きな声を出して元気いっぱい北海道の寒い冬を乗り越えていきましょう。感動、笑いありの運動会、今年も大成功となりました。めでたし、めでたし。  
(彼女作りより介護の勉強！と短期目標を変更した介護士・孝樹泉)

運動会の様子はホームページ「最近の出来事」の動画で見ることが出来ます。

